

# 令和6年度 事業計画書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

学校法人 滋賀学園

I 法人の概要

・ 設置する学校の概要(令和6年4月1日現在)

学 校 名	学 部	学 科	定 員		現 員	
			入学定員	総定員	入学数	総 数
びわこ学院大学	教育福祉学部	子ども学科	80	340	50	279
			3年次編入 10		4	
		スポーツ教育学科	40	170	31	109
			3年次編入 5		1	
びわこ学院大学 短期大学部		ライフデザイン学科	80	160	52	108
滋賀学園高等学校		普通科	200	820	194	501
		看護科・ 看護専攻科	40	40	32	32
びわこ学院大学 附属こども園あつぷる			80	80	15	69

・ 役員・教職員の概要(令和6年4月1日現在)

【役員】

理事	理事長 森 美和子 (常 勤)	顧問 鈴木 武夫 (非常勤)
	理 事 沖田 行司 (常 勤)	
	理 事 近藤 芳治 (常 勤)	監 事 森谷 伊三男 (非常勤)
	理 事 森 亘 (常 勤)	監 事 清水 忠和 (非常勤)
	理 事 竹内 寛 (非常勤)	
	理 事 中村 功一 (非常勤)	
	理 事 豊田 三郎 (非常勤)	
	理 事 竹脇 義成 (非常勤)	

【評議員】

評議員 17名

【教職員の概要】

		教員 99名	教員 70名	職員 26名	職員 19名
		(専任)	(非常勤)	(専任)	(非常勤)
〈内訳〉	びわこ学院大学 びわこ学院大学 短期大学部	} 教員 36名	} 教員 62名	} 職員 20名	} 職員 13名
	びわこ学院大学 附属こども園あつぷる	教員 16名	教員 4名		
	法人本部			職員 4名	職員 2名

## II 学園の法人会議及び監査について

年月	会議区分	議題等
令和6年5月	評議員会	1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度決算について 3. 令和5年度監査報告について
	理事会	1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度決算について 3. 令和5年度監査報告について
	評議員会	1. 令和5年度決算報告について
令和6年9月	評議員会	未定
	理事会	未定
令和6年12月	評議員会	1. 令和7年度教職員人事について
	理事会	1. 令和7年度教職員人事について
令和7年3月	評議員会	1. 令和7年度事業計画について 2. 令和7年度予算について
	理事会	1. 令和7年度事業計画について 2. 令和7年度予算について

### ◇法人の監査等(予定)

年月	内容
令和6年4月	期首監査(公認会計士)
令和6年5月	令和5年度決算監査(公認会計士)
令和6年5月	学園監事による公認会計士からの監査状況報告聴取
令和6年5月	学園監事による令和5年度監査
令和6年11月	滋賀県総務部私学・県立大学振興課による現地調査
令和6年11月	中間監査(公認会計士)
令和7年1月	中間監査(公認会計士)
令和7年3月	中間監査(公認会計士)

### Ⅲ 事業の概要

#### 1 びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部

##### <重点項目>

##### 1. 教学マネジメント体制の充実

- ① 経営戦略 IR 推進会議
- ② IR 情報を活用した教育の質の向上
- ③ 任命部長の役割の明確化(組織の機能化)
- ④ 外部評価委員会への積極的な対応
- ⑤ カリキュラムの再検討  
講義科目の厳選 → 新コースの開設に向けて

##### 2. 研究制度の充実

- ① 個人研究費の申請制度 — 科学研究費への連動
- ② 学内学会設立準備
- ③ 学長裁量経費の運用 — 科学研究費申請者の補助・国際学会の補助

##### 3. グローバル化の推進・魅力ある大学づくり

- ① 留学生 30 万人計画に基づく留学生入学の強化  
湖南文理学院との交流協定拡大(短期大学部→四大)
- ② 海外の研究機関及び大学生とのオンラインを通じた共同研究と教育交流に向けた検討
- ③ 海外研修の実施に向けた検討
- ④ 国際センター設置と留学生受け入れ体制の確立
- ⑤ 留学生の新規開拓

##### <具体的施策>

##### 1. 学生の受入れ

- ① 大学のカリキュラム改革による魅力の訴求
  - ・ 大学公式 Web サイトの大幅修正・訴求内容の見直し
  - ・ 大学パンフレットの大幅修正・訴求内容の見直し
  - ・ オープンキャンパスでの訴求内容の見直し
  - ・ 情報誌等の原稿の大幅修正・訴求内容の見直し
- ② 教育学分野以外の志望層へのアプローチ強化(マーケット拡大)
  - ・ 高校訪問による高校教員の認知度向上
  - ・ 企業との連携の魅力化・周知強化
  - ・ 海外研修などの取り組みの周知強化
- ③ 県外生の獲得の強化(エリア拡大)
  - ・ 高校訪問の強化
  - ・ 学外試験会場の設置・案内制作の検討
  - ・ 県外生向けリーフレットの作成
- ④ オープンキャンパスの質向上
  - ・ 説明する教員を固定することによる質の担保
  - ・ Q&Aを事前に配布することによる質の担保
  - ・ タイムスケジュールの見直しによる自由度の向上
  - ・ 学生ナビゲーターの教育強化
  - ・ 学食無料体験の復活によるコミュニケーションの機会確保

- ⑤ SNS による広報強化
  - ・ Instagram の更新頻度向上
  - ・ Youtube の活用の見直し
- ⑥ 交通広告の活用
  - ・ 駅看板の一斉更新
  - ・ 駅ポスター枠の活用（オープンキャンパス告知・入試告知など）
- ⑦ 学長や教員の活動を通じた広報と認知度向上
  - ・ 出前授業などによる低学年からのアプローチ強化
  - ・ 単著の出版、TV 出演、新聞掲載などの広報強化
- ⑧ 学生の満足度向上への提案
- ⑨ 入学者選抜の実施方針、入試内容の検証及び見直し
- ⑩ 奨学金制度充実
  - ・ 今年度導入した一般チャレンジの選考内容の見直し
  - ・ 競合大学の奨学金制度との比較・検討

## 2. 学修支援

- ① 教員・職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備
  - ・ 「学修の記録」や「学生ポータルサイト」、「GPS-Academic」等を積極的に利活用し、効果的な学修支援につなげる。
  - ・ 学生への新たな情報発信ツールを検討する。
  - ・ 入学前学習を工夫し、学ぶ意欲を向上させ、初年次教育につなげる。
- ② SA (Student Assistant) の活用による学修支援の充実化
  - ・ SA の活用実績を積み上げる。
  - ・ SA 自身のスキル向上のための取り組みを検討する。
  - ・ 休退学の防止のため、「学生ポータルサイト」を使った担任等による個別学修支援を充実させる。

## 3. キャリア支援

- ① 「びわ学キャリア塾」の成果の検証および修正
- ② 教員採用試験・幼稚園・保育士（公立・私立）採用試験に向けての指導体制充実
- ③ 一般就職支援—企業の学内説明会
- ④ 地元企業との協定及び連携

## 4. 学生サービス

- ① 学修支援のニーズ把握、総体的な支援策整備
- ② 高等教育の修学支援新制度の対応体制の強化
- ③ オフィスアワーの強化、学生との読書会、研究会の組織化

## 5. 学修環境の整備

- ① 学修環境の整備
- ② 広報誌の発行等、PR 活動による図書館の利用度 UP
- ③ 購入希望調査の実施等、利用者ニーズの把握に基づく資料収集
- ④ イベント開催等、利用形態の多様化によるラーニング・コモンスの有効活用
- ⑤ 電子書籍等、資料の電子化による所蔵スペースの確保
- ⑥ 研究紀要等、研究誌の発行による研究業績の公開
- ⑦ 施設・設備の利便性向上

## 6. 学生の意見・要望への対応

- ① 在学生の学生生活実態調査
- ② 学長と学生との懇談会
- ③ 卒業生アンケート調査（SNS 対応）
- ④ 学生相談室、カウンセラー配置による学生相談体制の充実、ゼミナール・クラス担任による学生面談の実施（年間2回以上）
- ⑤ 学長専用メールアドレスの周知

## 7. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ① 教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーの整備
  - ・教務委員会によるディプロマ・ポリシーの点検等を行う。
  - ・ディプロマ・ポリシーの学生への周知徹底をはかる。
- ② ディプロマ・ポリシーを踏まえた各種制度などの見直しの検討
  - ・ディプロマ・ポリシー対応ルーブリックの検証と改善の検討をする。【四大】
  - ・ディプロマ・ポリシー「達成度シート」の検証と活用法の見直しを検討する。【短大】
  - ・原級留置制度の廃止による影響を検証する。【四大】
  - ・退学勧告制度の廃止による影響を検証する。【短大】

## 8. 教育課程及び教授方法

- ① カリキュラム・ポリシーの策定と周知
  - ・令和7年度カリキュラム変更の準備を進めるとともに、それに伴うディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの点検・見直しを行う。
  - ・カリキュラム・ポリシーの学生への周知徹底をはかる。
- ② カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成
  - ・令和7年度カリキュラム変更等に伴う、カリキュラムマップ・ナンバリングの見直しを行う。
- ③ アクティブラーニングの実施状況の点検と高い実施率の維持

## 9. 学修成果の点検・評価

- ① アセスメントポリシー（プラン）に関する学内方針の検討
- ② 学修状況の把握・分析、フィードバック
  - ・GPS-Academic の受検結果データの活用について検討する。
  - ・「学修の記録」や「ディプロマ・ポリシー対応ルーブリック」等の評価結果を分析する仕組みを検討する。【四大】
  - ・「学修の記録」や「ディプロマ・ポリシーの達成度シート」等の評価結果を分析する仕組みを検討する。【短大】

## 10. 職員の研修

- ① SD(Staff Development)への取組み推進
- ② IRer 資格取得の推進
- ③ 修学特別支援や人権意識の知識力や対応力向上

## 11. 研究支援

- ① 研究環境の整備と支援体制の確立
- ② 科研費等、外部資金獲得増進
- ③ 研究者倫理の向上と不正防止

## 12. 地域・産学連携

- ① 地域貢献活動（地域出前授業ユーカーレッジ）の充実・発展
- ② 地域の課題解決に向けた実践的活動の推進と地域教育実践活動記録集の発行
- ③ 包括的連携協定の締結と産学連携の強化

## 13. 国際交流

- ① サマーセッションの実施
- ② 留学生入学の体制強化
- ③ 教職員・学生の国際交流活動の推進

## 14. 内部質保証の強化

- ① アンケート調査等を教育活動等の改善に反映させる仕組みの構築
- ② IR(Institutional Research) 機能の整備
- ③ PDCA サイクル確立及びその機能性の向上

## 15. 補助金獲得の強化

- ① 私立大学等改革総合支援事業等の補助金獲得に向けた検討

### 【びわこ学院大学教育福祉学部】

#### 1. 子ども学科・スポーツ教育学科共通

- ① 教育学と福祉学の両面に基づく教育体制の充実
- ② 各種審議会、委員会、プロジェクトへの参画、地域貢献
- ③ 地域に根差した研究と教育の推進
- ④ スタディスキルズ、キャリアデザイン(授業) の充実
- ⑤ 教育福祉学部の新たな展開

#### 2. 子ども学科

- ① 教育・福祉の広い分野で社会に貢献できる人材の育成
- ② 「わくわくフェスタ」企画・運営
- ③ 1年生からの『教育・保育実習前体験活動』（教育ボランティア）の推進と専門的分野の授業との関連の充実

#### 3. スポーツ教育学科

- ① スポーツ人材育成プログラムにおける体験・実習型活動の拡充
- ② 障害を含めた多様な子どもを支援する人材の育成強化
- ③ 「BGU キッズ」を中心とした地域における参加型スポーツ交流活動の企画および推進

## 【びわこ学院大学短期大学部ライフデザイン学科】

1. 児童学コース
  - ① 地域社会に根差し、地域に貢献できる人材の育成
  - ② 公立幼保採用試験の分析及び対策の強化
  - ③ 魅力ある保育者育成のための保育教材研究の強化
2. 健康福祉コース
  - ① 滋賀学園高等学校との高大連携事業実施及び成果の検証
  - ② 介護福祉士試験対策強化
  - ③ 福祉住環境コーディネーター2級・3級検定試験の合格者増加
3. キャリアデザインコース
  - ① 滋賀県インターンシップ推進協議会の就業体験関連イベントへの参加
  - ② 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の申請準備
  - ③ IT情報関連資格の取得者増加と公務員採用試験の合格者増加

## 【年間行事計画】

1. 入学式、新入生オリエンテーション、卒業証書・学位記授与式
2. 各種講習等
  - ①保育士等キャリアアップ講習(滋賀県・滋賀県保育協議会)  
5/18(土) 5/25(土) 6/1(土) 6/8(土) 6/15(土) 6/22(土)  
6/29(土) 7/6(土) 7/13(土) 7/20(土) 7/27(土) 8/10(土)
  - ②環びわ湖大学地域コンソーシアム 大学地域課題解決支援事業
  - ③公認スポーツ施設管理士養成講座・資格認定試験
3. キャリアサポート支援事業
  - ①本学教職員による公務員・一般企業就職・教職採用対策講座
  - ②東京アカデミー講師による対策講座
  - ③就職活動スタートアップセミナー
  - ④自己分析セミナー、論作文対策講座、模擬面接会
  - ⑤就業体験、インターンシップ実習
  - ⑥学内合同企業説明会
4. 実習連絡協議会
5. 介護実習指導者懇談会
6. 高大連携  
能登川高等学校・水口高等学校・愛知高等学校・滋賀学園高等学校  
滋賀県立高等学校生徒対象の連続講座
7. 交通・生活安全(春学期)・防災訓練指導(秋学期)
8. 人権・ハラスメント研修会(学生対象・教職員対象各1回)
9. 大学祭 11/3(祝・日)
10. FD研修会
11. SD研修会
12. オープンキャンパス

第1回	4/21(日)	第2回	5/26(日)	第3回	6/16(日)
第4回	7/21(日)	第5回	8/3(土)	第6回	8/18(日)
第7回	10/20(日)	第8回	12/8(日)	第9回	R7 3/23(日)
13. 入試相談会 11/3(祝・日)

## 14. 入学者選抜

### 入試種別と試験日一覧

#### 総合型選抜(A0)

大 学	A 日程 9/28. 9/29 B 日程 11/23
短 大	A 日程 事前面談 7/28 試験 9/29 B 日程 事前面談 9/7 試験 9/29 C 日程 事前面談 11/23 試験 12/14

#### 総合型選抜(スポーツ評価)

大 学	前期 9/28 後期 12/14
-----	------------------

#### 総合型選抜(自己推薦)

大学短大共通	11/17
--------	-------

#### 学校推薦型選抜(公募推薦)(前期・後期)

大学短大共通	前期 11/16. 11/17 後期 12/14
--------	--------------------------

#### 学校推薦型選抜(指定校推薦)

大学短大共通	11/23
--------	-------

#### 学校推薦型選抜(系列校推薦)

大学短大共通	11/23
--------	-------

#### 一般選抜(前期・後期)

大学短大共通	前期 2/8. 2/9 後期 3/12
--------	---------------------

#### 大学入学共通テスト利用選抜(A日程・B日程・C日程)

大学短大共通	個別学力試験なし
--------	----------

#### 社会人選抜(I期・II期)

大学短大共通	I 期 12/14 II 期 2/9
--------	--------------------

#### 外国人留学生選抜(国内I期・国内II期・国外)

大学短大共通	国内 I 期 11/17 国内 II 期 2/9 国外 別で定める
--------	-----------------------------------

#### 編入学選抜(指定校推薦・I期・II期)

大 学	指定校 11/17 I 期 11/17 II 期 2/9
-----	------------------------------

### 【施設・設備の充実】

1. 講義室・図書館等 照明 LED 化更新工事
2. 体育館 空調設備の設置

## 2 滋賀学園高等学校

### (1) 主な教育の概要

滋賀学園高等学校は、創始者森はな先生が昭和8(1933)年に開設された和服裁縫研究所を起源とする。昭和59(1984)年、建部北町に八日市女子高等学校を開校以来、「誠実・忍耐・努力」を校訓に掲げ、「社会に貢献できる人間の育成」、「進取の精神と剛健な身体の育成」、「豊かな人間性の涵養」を教育目標とし、教育活動に取り組んできた。平成11(1999)年には、男女共学化に伴い、校名を滋賀学園高等学校とし、開校40周年を迎える令和6年(2024年)には、滋賀県初の看護科・看護専攻科〔5年一貫教育課程〕を開設する。「国際化」「情報化」「少子高齢」など時代のニーズに柔軟に対応しながら、地域に貢献できる人を育てるという教育活動を展開している。

### (2) スクールポリシー

#### ●求める生徒像（アドミッションポリシー）

##### 【普通科】

地域社会や国際社会に貢献する人材の育成という本校の教育理念を理解し、本校での学びを通して「他者を思いやり、積極的に自分の能力を高め、自らの人生を主体的に構築したい」という人を求める。

1. 誠実に忍耐強く物事に取り組み、最後まで努力して、責任ある行動がとれる人
2. 目標に向かって自ら努力できる人
3. 思いやりや感謝の気持ちを忘れず、人と関わることができる人
4. 他者の話を素直に聴き、自らの考えをしっかりと伝えることができる人
5. 社会に貢献する人を目指す者として、自らの生活や健康を管理できる人

##### 【看護科・看護専攻科】

本校の校訓「誠実・忍耐・努力」をしっかりと理解し、社会に貢献する看護師を育成するために、次の資質を持った人を求める。

1. 誠実に忍耐強く物事に取り組み、最後まで努力して、責任ある行動がとれる人
2. 目標に向かって自ら努力できる人
3. 思いやりや感謝の気持ちを忘れず、人と関わるすることができる人
4. 他者の話を素直に聴き、自らの考えをしっかりと伝えることができる人
5. 看護師を目指す者として、自らの生活や健康を管理できる人

#### ●教育課程の編成と達成目標（カリキュラムポリシー）

本校における「カリキュラム」とは、教科中心の学習指導に限定されるものではなく、生活指導をふくめた生徒に関わる全ての活動を指すものである。「生徒たちがどう生きるか」を前提にした生活指導と、主体的・能動的な活動を重視した学習指導は、車の両輪のように生徒の成長を支えるものであると考える。

##### 【普通科】

現代を生きる上での必要不可欠なものである高度な英語スキル、ICTリテラシーなどを生徒が中心となる協働的な学びのスタイルであるアクティブラーニングの手法を用いて、深い学びにつながるような教科学習を展開する。

また、系列大学であるびわこ学院大学との連携を活用し、上級学校での専門教育につながる教科指導も実践する。

##### 【看護科・看護専攻科】

看護の体系的・系統的な理解と関連した技術を習得させ、確かな学力の育成を図る。看護教育を通して望ましい看護観及び倫理観を育み、5年間で看護師国家試験受験

資格を取得できる教育活動を展開する。

## ●卒業までに身につける能力（ディプロマポリシー）

### 【普通科】

幅広い知識と高い学力、課題解決力を身につけ、特に深い学びから身につけた自己発信力を使い、大学や社会における様々な改革に対応できる生徒を育成すること、また、国際的視野を持って主体的に自らの進路や社会の未来を切り拓く力と豊かな人間性を備えた生徒を社会に輩出することと、持続可能な社会の創り手の育成を目指す。

### 【看護科・看護専攻科】

教育課程において、所定の単位を修得し、次の能力を備えた学生に卒業を認定する。

1. 生命の尊重と優しさ、思いやりを身につけ、社会の発展のため寄与できる能力
2. 自ら考え、行動する精神を養い、地元地域を含めて社会の医療に貢献できる実践能力
3. 医療チームの一員としての自覚を持ち、より質の高い看護を提供することを目指す能力
4. 看護の本質を理解し、広い視野の上で判断し研究する能力

## (3) 重点目標と具体的実践

### ①確かな学力・発展的な学力を伸ばす教育の実践

授業において、協働的な学びを取り入れ、主体的、対話的で、深い学びの実践に努める。教職員集団として組織的に授業研究に取り組み、教科指導力の向上に努める。系列大学との高大連携を充実させる。

### ②生徒一人ひとりの自己実現(進路実現)に向けたキャリア教育の充実

自己実現に向け自主的かつ粘り強く学習に取り組む生徒を育てる。授業時間数の確保、習熟度別授業、個別指導や学内塾、キャリアサポート(面談、進路講演会、模試分析、進路情報の提供等)の充実を図る。グローバル特進コースでは共通テストの受験者数を増やし、国公立大学や難関私立大学へのチャレンジを推奨する。

### ③地域に貢献する人材の育成

公務員や教員、企業の中核となり、地域社会のリーダーとして活躍する人材を育成する。新設する看護科・看護専攻科では、学習、実習に積極的に取り組み、地域医療に貢献する看護師の育成を目指す。

### ④海外留学の推進と実践的英語力の育成

国際化に対応した実践的英語力の育成に取り組み、英語のコミュニケーション能力の向上を図る。ニュージーランド姉妹校との連携をさらに強固にし、長期留学(1年)やターム留学(3ヶ月)への積極的参加を勧め、英語検定受験に向けた取組をさらに推進する。

### ⑤ICTの積極的な活用

タブレット PC や電子黒板等の ICT 機器を授業で有効に活用し、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業に取り組む。生徒が主体的・協働的に学ぶ態度を育み、コミュニケーション能力や問題解決能力、情報活用力、創造性などを伸ばし、社会の変化に柔軟に対応できる能力を身につけた人材を育成する。

### ⑥健全な心身と強い精神力、豊かな情操の育成

健全な心身と強い精神力、豊かな情操を育むために学校行事やホームルーム活動、部活動、奉仕活動のさらなる充実を図る。全ての教育活動を通して正しい行動、責任ある行動をとれる自立した大人への成長を促す。部活動においては、意欲的に活動し、競技力の向上を図り、大会での上位入賞、全国大会への出場を目指す。地域連携委員会を創設し、「えきなかラジオ」をさらに活用する。

### ⑦信頼される学校づくりの推進

授業改善と生徒一人ひとりの特性を見取る力の向上をめざし、教育相談・生徒指導の充実を図る。規範意識の醸成と人権意識の高揚に努め、生徒一人ひとりが大切にされ、いじめのない安心して通える学校づくりを進める。

### ⑧学校のブランド力を高め、募集定員を確保する広報

今後の生徒数の動向や、社会の変化、求められる資質・能力などを分析・検討する中で、学校の魅力を再構築して本校の特色や実績について発信し、地域や保護者の理解を深める。

また、新時代において学校の新しい可能性を見いだしてゆくことをコンセプトに英語やプログラミング、eスポーツ大会などのプログラムを開発し、中学生に向けた公開講座などを実施することにより、地域の教育の拠点としての役割を果たす。

### ⑨施設設備の充実

教育環境を整備し、ICT教育環境のさらなる充実を図る。生徒、教職員の安全を確保するため、また、自然災害などへの対応に適応できるように施設設備の充実を図る。避難訓練は火災の他、地震などの災害を想定して定期的実施する。

PC室、Wifi等更新

LED照明化工事（検討）

スクールバス車両更新

### ⑩組織運営の強化

適切な教職員の配置に努め、人権研修や学びの共同体研修など教職員研修を計画、実施する。危機管理体制を強化する。

### 3 びわこ学院大学附属こども園あつぷる

#### 令和6年度 こども園の保育目標と具体的実践計画

本園は、「共に力強く育つ」を教育・保育理念に掲げ、子ども達一人一人が十分に自己発揮できるよう具体的な体験と環境を通した保育を基本として人格形成の基礎づくりに努めている。子ども・保護者・保育者・大学教員・地域の人々が共に学び合い、育ち合うことができるこども園を目指し、様々な人間関係の中で育つことにより子ども達は安心して活動し、より力強く生きる力の基礎を身につけ、子どもが主役の楽しい園生活を送れるように努める。

#### (1) 教育・保育方針に基づく計画と実践

- ・ 全体的な計画を基に、園児一人一人の発達の特徴をふまえた年間計画・月案・週案を作成し、育ってほしい10の姿を職員全員が共通理解した上で保育に当たる。
- ・ 職員は子どもが自ら遊びを展開できるよう環境を構成し、再構成を重ねながら子どもの主体性を育む。
- ・ 乳児期からジャングリングを活用し、運動遊びを通した体力づくりをする。
- ・ 異年齢交流（遠足、散歩、お店屋さんごっこ、延長保育等）

#### (2) 特色保育・・・3・4・5歳児を対象に4つの特色保育の実施

- ・ ゴーゴーチア  
3歳児は発表会に向けてチアを楽しみ、4・5歳児は運動会、学園祭で披露する。
- ・ 音の玉手箱  
音の楽しさ、美しさを十分味わい豊かな心を育て、発表会で披露する。
- ・ レッツパソコン  
4歳児はひらがな遊びや音遊びを通して、5歳児は簡単なプログラミングにも挑戦しながらICTを身近に感じる。
- ・ サッカー教室  
滋賀県サッカー協会や大学の講師を招いてサッカーを楽しみ、体力の向上を目指す。

#### (3) 健康及び安全

- ・ 毎日の健康観察（機嫌・食欲・顔色等）と個々の疾病等に応じた健康状態の把握
- ・ 毎月の身体測定（4月・10月は四計測）と身体的虐待の早期発見に努める
- ・ 内科健診（4月・10月）・歯科検診（6月）・検尿・聴力、視力検査の実施
- ・ フッ化物洗口の実施（5歳児…週2回）
- ・ 命の安全教室の実施

#### (4) 食育の推進

- ・ 季節に応じた野菜の栽培（ジャガイモ・豆・サツマイモ・玉ネギ他）と収穫した栽培物を使ったクッキング
- ・ 東近江市主催「食と健康教室」への参加
- ・ 保護者の給食試食会を通して家庭への食育の関心を高める

#### (5) 環境・衛生・安全管理

- ・ 「学校環境衛生基準」の内容を踏まえ、室内の温度や湿度の管理、換気の徹底
- ・ 園薬剤師による定期検査の実施（水質・調光・空気）

- ・害虫駆除（6月・12月）
- ・乳幼児が扱う用具や保育室の消毒等、常に清潔な環境を保つ。
- ・業者による園舎ワックスがけ（年1回、7月）
- ・次亜塩素水超音波噴霧器、空気清浄機を常設し、感染症対策を行う。
- ・月2回の安全点検は、園舎、遊具に加え、散歩先や大学グラウンド等、園児の行動を予測して行う。
- ・日々の保育で起きるヒヤリハットを職員間で共有し、事故防止に努める。
- ・保護者・職員による園庭の清掃作業（年4回）

#### (6) 災害への備え

- ・毎月の避難訓練に加え、不審者対応、通報訓練、消火訓練を行う。
- ・親子防災訓練と大学との合同避難訓練（年1回）を行う。
- ・災害の規模を想定し、規模に応じた避難の仕方を見直し、職員一人一人が適切な判断で避難できるようにする。
- ・大学との連携を強化し、園児を安全に避難させる協力体制を検討する。
- ・施設機能強化の補助金を利用し、防災頭巾や避難車等を購入し備える。

#### (7) 保護者支援・子育て支援

- ・保育参加や保育参観等を実施し、保護者が保育を見る機会を設けることで安心して通わせることができるようにする。また、子育てへの不安や悩みに寄り添い信頼関係を築く。
- ・未就園児の親子を対象とした「あつぷる広場」の開催（年6回）
- ・発達に課題のある園児への保護者支援を丁寧に行う。
- ・ドキュメンタリーをより充実させ、子どもの育ちを保護者と共有する。

#### (8) 保幼小連携

- ・布引小学校との交流  
音楽会（6月）・秋祭りへの参加（11月）・布引小学校教員の保育体験（7.8月）  
布引小学校の教員による出前授業（3月）
- ・校区研・管理職研で情報交流をし、同じ目標を掲げて長いスパンで子どもの育ちを支える。
- ・小学校へのスムーズな就学にむけて5歳児のアプローチプログラムを作成する。
- ・不登校未然防止会議への出席

#### (9) 地域交流

- ・びわこ学院大学との交流  
ごみ0運動・七夕コンサート・学園祭参加・クリスマス会等
- ・実習生・ボランティア・職場体験の受入れ
- ・東近江市主催の交通安全活動や人権大会等への参加

#### (10) 職員の資質向上

- ・県や市の開催する研修への参加  
発達支援研修・保護者対応研修・園内研究研修・新任研修・キャリアアップ研修等
- ・園内研究主任を中心に、園内研修を実施する。  
園児のもつ課題から育ってほしい力を育てるための研究主題を設定し、ビデオカンファレンス・フォトカンファレンス等を用いて、多くの職員が参加できるように工夫する。
- ・人権研修を実施し、職員間や子どもの人権に十分に配慮した保育・職員の育成を行う。

- ・毎月職員の標語を掲げ、保育と共に自己評価を行い振り返り反省をし、次に生かす。

(11) その他

- ・保育計画作成や出席管理を「コドモン」アプリで行い、事務業務の削減や時短にむけて取り組む。
- ・パワハラやモラハラ防止の研修に参加し、どの年代にも働きやすい職場をめざす。
- ・職員の姿勢  
「明るい笑顔と優しい言葉がけ」をモットーに思いやりをもって日々の保育に努める。  
保育の心「あいうえお」愛情・意欲・美しい言葉・笑顔・思いやりの実践に努める。  
目の前の子どもの姿から、常に学び続け支え励まし合う職員集団を目指す。  
一人一人の子どもを受容的・肯定的に理解し、丁寧な保育を行う。

令和6年4月1日予定園児数

1. 園児数 69名（新入園児15名……保育園14名、幼稚園1名）

区 部 年齢・学級名	2・3号認定			1号認定			合 計
	男	女	計	男	女	計	
	4月	4月	4月	4月	4月	4月	
あっぷる1組(0歳児)	0	1	1				8
(1歳児)	4	3	7				
あっぷる2組(2歳児)	7	3	10				10
あっぷる3組(3歳児)	6	10	16	0	1	1	17
あっぷる4組(4歳児)	6	7	13	1	2	3	16
あっぷる5組(5歳児)	6	5	11	5	2	7	18
合 計	29	29	58	6	5	11	69

途中入所予定…10月・12月 0歳児2名入園予定

2. 職員数

常 勤（園長、副園長、主幹保育教諭、保育教諭）：16名  
 非 常 勤（保育教諭）：4名  
 事 務：2名

合計22名

## 令和6年度＜年間主要行事計画＞

月	日 旬	園 行 事			日	健康安全な行事	日	地域に開かれたこども園の取り組み (子育て支援・小中高大連携含む)
		園 内	日	園 外				
4	8 8 10	新入園児保育開始 はじまりの会 あっぷる集会 幼児保育参観		大学構内、園周辺散策		内科検診 は・ハ・歯の教室		保育参加（毎月）
5	12 22 13～ 24	あっぷる集会 交通安全教室 全員個別懇談		大学構内、園周辺散策		検尿 視力検査・聴力検査 交通安全教室	17 30	あっぷる広場① ゴミ0運動
6	3 3 25	あっぷる集会 親子防災訓練 プール開き		近隣公園散策	1	害虫駆除 歯科検診 食と健康教室	19	あっぷる広場②
7	5 19 22	七夕あっぷる集会 終業式 1号認定児 夏休み					17	あっぷる広場③
8	1	あっぷる集会	7 7	5組 大風会館見学 1号認定児 登園日	29 30	プール終了 プール掃除		
9	2 3 20	始業式 あっぷる集会 運動会		大学構内散歩				
10	1 10 22	あっぷる集会 電車遠足 乳児親子活動	10	電車遠足 いきものの森 近隣公園散歩		内科検診	19	あっぷる広場④
11	1 3 1	創立記念日 びわこ学院大学学園祭に参加 あっぷる集会	29	親子布引焼き体験（5歳児）			22	あっぷる広場⑤
12	2 4 24 23	あっぷる集会 もちつき大会 クリスマス会 終業式 希望個別懇談		大学構内散策		は・ハ・歯の教室 害虫駆除		
1	8 10	始業式 あっぷる集会		布引グリーンスタジアム散策				
2	3 10 15	あっぷる集会 新入園児1日入園 あっぷる発表会		大学構内散策				
3	3 12 18 21	あっぷる集会 お別れ会 卒園式 終業式	6	お別れ遠足			1 1	5組親子清掃 保護者役員会
		あっぷる集会で誕生日のお祝い ＜大学教員を講師に招いた教室＞ (英語・パソコン・リトミック・ チア)		毎朝の体操 マラソン・サーキット遊び ジャングラミング		避難訓練（毎月） 身体計測（毎月） 安全点検(月2回)		びわこ学院大学教育とのふれあい 学生ボランティアの受け入れ 近隣中・高等学校との交流 布引小学校との交流